

小樽市立北陵中学校

小樽市清水5番1号

TEL 0134-24-5500

KOMPEKI

紺碧

《校訓》
よりよく創る

《教育目標》

小樽の未来をつくる 北陵生の育成

- 深く学び、考え、表現できる生徒
- 豊かに人とつながり、思いやりのある生徒
- たくましく心身を鍛え、自らを律する生徒

「やり抜く力」

ペンシルベニア大学の心理学者 アンジェラ・ダックワース教授の書いた『GRIT(グリット)』という本の紹介をします。日本語では「やり抜く力」と訳されています。

少々、難しい話になりますが、人の能力は大きく2つに分けられています。一つは、学力テストなど点数で測ることのできる認知能力(IQ)。もう一つが、数字で測ることの難しい非認知能力(EQ)と呼ばれる能力です。最近、注目されているのが後者の非認知能力です。「人間力」とか「生きる力」と呼ばれることもあります。そして、この本によると、どんな分野であっても、大きな成功を収めた人の共通点は、この非認知能力の中の「やり抜く力」が大切だということが研究を通して結論づけられています。さらに、この「やり抜く力」。「情熱」と「粘り強さ」の2つのことを指しており、面白いことに、それは「才能や知性」とは関係ないということです。

本の中では様々な実験を通して、高い才能を持っていても「やり抜く力」がないために途中で挫折してしまった人。反対に、周り比べて際立った才能をもっているわけではなくても「やり抜く力」があるために成功した人たちの事例がたくさん紹介されています。

よく「あの人は(もともとの才能が)違うから」とか、「努力したって所詮、凡人には…」と言った言葉を耳にします。でも、才能があったとしてもそれを生かせるかどうかは別の問題なのです。

そして、更に面白いのが、この「やり抜く力」は、今からでもどんどん伸ばすことができるということです。つまり、トレーニングさえすれば、大人も子どもも、この「やり抜く力」を高めることができるということです。

校長 岡本 清豪

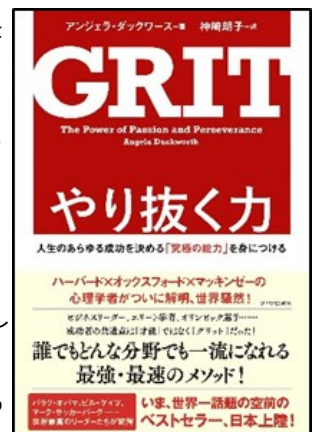
以下は、本の中で紹介されていた実際に効果を上げる一流のスポーツ選手共通の練習法です。

そのまま、勉強にもあてはまる練習法となっています。

- 1) ある1点に絞って、自分にとっては？と思うくらいの「高めの目標」を設定する。
- 2) この「高めの目標」の達成を目指すために、練習にはしっかり集中する。
- 3) できないこと・改善点がわかったら、うまくできるまで何度でも繰り返し練習する。

どうでしょう？こんなことわかっているよ、と突っ込みを入れたくなるような練習法です。でも、当たり前だからこそ、誰しものが「うまくできるまで何度でも繰り返しした」経験…。それによって「できるようになった喜び」の体験をし、その大切さも理解できるのではないのでしょうか。

もちろん、この当たり前のことを長期的にやり続けることが、とても大変だということもご存じの通りです。しかし、考えてみてください。このごく当たり前のことを積み重ねることで、人生、様々な面で成功に導く究極の能力である「やり抜く力」を伸ばすことができるとしたら…。試してみたい手はないと思います。北陵中学校の生徒諸君、今からでもぜひ一歩踏み出してみましょう！



ここがすごいぞ！北陵生！

第66回全道学校書道展において、5名が見事秀作に入賞！第90回全国書画展覧会において、7名が金賞、1名が特選に入賞！第33回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞において、1名が佳作に入賞！すごい！！おめでとう！！

【第66回全道学校書道展】

1年2組水野晴斗 秀作
1年3組橋本 希 秀作
2年2組木村瑠夏 秀作
3年2組山田香音 秀作
3年2組堀有季乃 秀作

【お〜いお茶新俳句大賞】

3年1組荒井航太 佳作

【第90回全国書画展覧会】

1年2組水野晴斗 金賞
1年3組橋本 希 金賞
2年1組金子美月姫 金賞
2年2組小檜山美咲 金賞
2年2組木村瑠夏 金賞
3年2組山田香音 金賞
3年2組堀有季乃 特選
3年3組梶原のん 金賞

スクールカウンセラー講話

11月9日(火)に本校のスクールカウンセラーである友田龍多先生より「よりよい人間関係の構築」の講話がありました。下の写真にある通り、①あいさつのしかた②相談のしかたについて、野里教諭と窪田教諭が寸劇を交えて、生徒に問いそれを深めながら、理解していく形式でした。全校生徒で考える素敵な時間となりました。



北陵生の活躍！！

○野球(11/3)

小樽市中学校軟式野球秋季大会
・北陵中学校 優勝

○バスケットボール(10/29)

第37回うめや杯
新人バスケットボール大会
・男子 第3位

○バレーボール(10/22)

第40回小田柿杯
新人バレーボール大会
・女子の部 予選リーグ惜敗

○ソフトテニス(10/17)

小樽後志ソフトテニス新人戦
・女子団体 1回戦惜敗

○バドミントン(10/22・23)

第42回小樽地区中学生
新人バドミントン選手権大会

バスケットボールは、12月24日(土)に苫小牧で開かれる全道大会へ出場します。今後、さらなる北陵旋風が吹き荒れることをぜひ楽しみにしててください。

新入生体験入学

10月31日(月)に来年度本校に入学してくる予定の高島小と手宮中央小の6年生が新入生体験入学にやってきました。体育館で校長先生の話や中学校の学習や生活の説明を聞きました。新入生体験入学は、次年度入学する上で北陵中学校の様子を知ってもらうことで、入学に対する不安を取り除くとともに、授業に対する興味・関心を高めることや体験入学や合同授業を通して児童同士がお互いを知り、交流を深めることを目的として実施しました。来年の4月を楽しみにしています。



仙台フィル管弦楽団

10月27日(木)に本拠地を日立システムズホール仙台に構え、全国の小中学校訪問など、年間100回を超える活動を展開している「仙台フィルハーモニー管弦楽団」が本校に来校しました。50人以上の演奏者が一つになって奏でる素晴らしいハーモニーとその迫力に私たちは圧倒されました。「百聞は一見に如かず」、百回見るよりも、たった一度でも自分の耳で聞いたほうが確かだということを実感することができた素敵な時間でした。一つ一つの楽器の紹介を丁寧にして頂き、それぞれの楽器の特徴や音色についての理解を深めることもできました。今回のコンサートでは、4名の生徒が指揮者体験をして、指揮の仕方が演奏全体に大きく影響することを学びました。この指揮者体験には、スペシャルゲストとして本校の職員も登場し、会場はより一層賑やかになりました。



キャリアチャレンジディ

10月28日(金)3年生の総合的な学習の時間に全国の学校と企業・団体講師をつなぎ、仕事や生き方について話を聞きインタビューを行う、交流型オンラインキャリア教育「キャリアチャレンジディOn-lineMeets」を実施しました。本校から生徒82名、また他地域の福岡県福岡市立平尾中学校、宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校も合わせて、総勢約398名の生徒が参加をして、企業4社の方々と接続しオンライン授業を行いました。3年生は各企業のSDGsの取組やそこで働く方の仕事について学び、自分を成長させるための「生き方」について考える機会となりました。



日	曜日	行事予定 ☆北陵学習室開講日 (S.C=スクールカウンセラー)
1	木	三者面談・保護者面談 ☆ 4時間授業
2	金	三者面談・保護者面談 ☆ 5時間授業
3	土	
4	日	
5	月	三者面談・保護者面談 ☆ 5時間授業
6	火	三者面談予備日・5時間授業 ☆
7	水	食育授業(1年) ☆
8	木	2学期の反省・冬休みの計画 ☆
9	金	職員会議・5時間授業
10	土	
11	日	
12	月	小中合同授業(5年生)・SC ☆
13	火	全校協議会・専門委員会
14	水	☆
15	木	☆
16	金	3年願書下書き ☆
17	土	
18	日	
19	月	人権教室 小中合同授業(6年生) ☆
20	火	分掌部会(5時間授業)
21	水	大掃除(5時間授業) 第3回学校運営協議会
22	木	2学期終業式 中体連スキー壮行会
23	金	北陵学習室winter
24	土	
25	日	
26	月	北陵学習室winter
27	火	北陵学習室winter
28	水	
29	木	年末年始休業(1月3日迄) 学校閉庁日
30	金	学校閉庁日
31	土	学校閉庁日